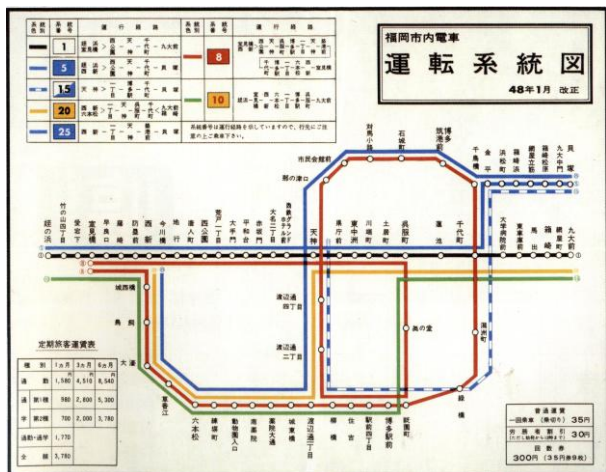


# 思いでのチンチン電車～貫線



昭和48年の路線図 一回運賃35円

ガタンゴトン、ガタンゴトン—小刻みに揺れ、路面を走る感触が直接伝わってくる。チンチンチン—懐かしい鐘の合図。1975（昭和50）年に廃線されるまで、西鉄福岡市内線（路面電車・市内電車）は市民の足として親しまれてきた。

箱崎の街もまた、路面電車とともに発展してきた。西日本鉄道の前身、福博電気軌道が1910（明治43）年に福博本線（後の貫通線、通称「貫線」）を開業。当初は箱崎で終点だった貫線も、九州帝国大学工科大学の設置に伴い、大正10年に「工科前」まで延伸開業、その後「帝大前」を経て「九大前」となり、チンチン電車は九大生にとって欠かせない交通手段であった。

## 九大前

九大前は貫線の終点、電車の折り返し地点でもある。箱崎の人々は現在でも周辺のことを「帝大前」と呼ぶ。斜めに伸びた道路は当時の面影を偲ばせる。写真右手の「やかた寿し」は今やない。



九大前電停（1975年）



九大前電停跡地（2008年）

## 網屋町

福岡の西の繁華街、西新に対して、東の繁華街は網屋町。映画館、喫茶店、飲み屋にバチンコ屋、電停に軒をならべて繁盛していた。昔ながらの街並みが残っているのもこの界隈の特徴だ。

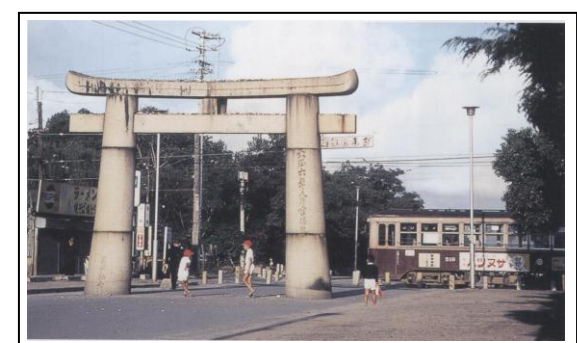


網屋町電停、奥が大学方面（1975年）



網屋町バス停（2008年）

網屋町を出た電車は、箱崎電停に向かう途中、宮崎宮の参道を横切る。写真は大鳥居の前を力走する電車、右が大学、左が馬出方面である。参道脇にある焼き鳥・ラーメン「静香」は現在も残る。



大鳥居の前を行く電車（1975年）



現在の風景（2008年）



## 箱崎

宮崎宮の参道を横切り、電車は箱崎電停へ。箱崎電停は待合所もある電停だった。奥に見えるユニードは、その後ダイエーに。専用の軌道は、バス専用道となり現在も残る。



箱崎電停に停車中 (1975年)



箱崎バス停 (2008年)

## 馬出

九大前を発車した電車が、乗客を乗せて馬出電停に停車するときは、いつも車内は身動きできない超満員。写真に写る簡素なプラットフォームフォームと、餃子とカレーライスのお店「旭軒」は現在も健在。



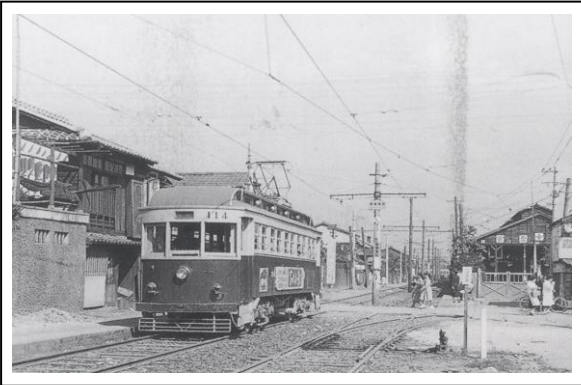
馬出電停 (1975年)



馬出通りバス停 (2008年)

## 東車庫前

電車のねぐら、東車庫近くにある電停。どんたくの時期に走る花電車は、チンチン電車の晴れ舞台、花電車へと着飾る作業は東車庫で行われた。廃線後は東営業所となり、現在は吉塚営業所に移転している。



東車庫前に停車 (1957年)

奥が箱崎方面、写真右手に見えるのが東車庫



東車庫前電停跡地 (2008年)

県庁北交差点付近・専用軌道を今は大きな道路が貫く

## 大学病院前

九大医学部の前にあるこの電停は、分厚い本を抱えた学生や、病院へ通う患者さん達で賑わった。木々の緑も美しい東公園の一角にあったこの電停も今では道路と県庁に変わってしまった。



大学病院前電停 (1975年)

奥が箱崎方面、左に九大病院がある



県庁九大病院前バス停 (2007年)

右手に県庁、左手に九大病院。県庁は昭和56年に引越しをしてきた。